

予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

議案第49号 令和2年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

防災スピーカーなどの更新時期

○防災無線維持管理費 1,382万4,681円

質疑 防災スピーカーは設置後10年近く経過しているが、スピーカーなどの機器の現状および更新時期についてどのように考えているのか。

答弁 防災無線維持管理費の内訳は、防災スピーカーや中継局の電気代、電波利用料などのほか、防災スピーカーや移動型無線、中継局や統制室などの機器の保守点検業務委託料、また、保守点検の結果などに基づき実施する機器の修繕費である。防災行政無線については、点検、修繕を行い適正に維持していくことを考えている。これらの機器の更新については、各メーカーの機能や他自治体の導入実績の調査を行うとともに、総務省消防庁が開催する災害情報伝達手段に関するアドバイザー会議での助言を参考に検討している。



防災スピーカー

特別定額給付金事務の成果と課題

○特別定額給付金給付事務費 7,719万7,180円

質疑 特別定額給付金事務を進める中で出された成果と課題および今後にかつことができる点はどのようなものか。

答弁 特別定額給付金事務は、1人につき定額給付金10万円を各世帯に給付する事業である。本市の成果としては、対象世帯が、8万7,362世帯・19万9,659人に対し、申請は世帯数比で99.48%、人数比で99.75%、給付率は世帯数比で99.45%、人数比で99.73%であった。

課題としては、オンライン申請の脆弱さが挙げられる。本市においても、短期間で全市民を対象に給付をしたことから、大量の申請書进行处理するための作業に要する場所、人員の確保に苦慮したところである。今後にかつことができる点は、申請処理や振込状況を、ホームページ上でリアルタイムに確認できるシステムを活用した点などが挙げられる。